

恐るべき子供たち (1950)

LES ENFANTS TERRIBLES

メディア 映画
ジャンル 青春 ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1976/08/14
公開情報 フランス映画社
映倫 PG12
リバイバル 2021/10/02 [リアリーライクフィルムズ] (4Kレストア版)

【キャッチコピー】

死をかけて愛しい、傷つきあう 美しい姉と弟の恐るべき遊びー
詩人コクトーの代表作完全映画化

【解説】

コクトーはこの小説の映画化を誰にも許可しなかったが、新人メルヴィルの自主製作の長篇「海の沈黙」(未公開)を観て、彼の願いを聞き入れた。かくして感覚的で崇高な青春像が刻まれ、その後続く“新しい波”の第一波となったのだ。開幕は美しい雪の晩。少年ポールは雪合戦の中、憧れるダルジュロスの放った石を詰めた雪玉に倒れ、友人ジェラルルによって自宅に運ばれる。姉エリザベートは姉弟の聖域の部屋に簡単につまらぬ他人を入れたことが悔しかった。彼女は自分が望めば奇跡は簡単に起きると信じていた。ダルジュロスが雪玉の件で反省せず学校を退学になった、と知ってポールは心を痛める。働きに出た洋装店で姉が知り合った少女を見て、彼は驚く。彼女アガートはダルジュロスに瓜二つなのだ。彼女はポールを愛するようになるが、その想いを告げることができず、それはジェラルルもエリザベートに対して同じだった。金持ちのアメリカ人に求婚されたエリザベート。ところが式の当日、相手は旅先で変死し、豪壮な邸宅にポールにアガート、ジェラルルを招き寄せて4人で暮らすことに。ポールはアガートへの想いを募らせ、手紙を送るが宛名に自分の名を書いてしまう。一方、アガートがポールに恋するあまり病気になったと知った姉は、彼女をジェラルルと結びつける。新婚旅行先でダルジュロスに再会したというジェラルルは、託された黒い毒薬の球をポールに手渡す。姉は二人してそれを飲み干すことが“奇跡”の完成と悟るのだった。閉ざされた空間の中で、子供の秩序を生き抜こうとする姉弟の間の裂け目から吹きこぼれるものが、大人にならざるを得ない我々を悩ます。能を思わせる舞台装置での圧巻のラスト、エリザベートのN・ステファアーヌの見事な悲劇女優ぶりには驚嘆する他ない。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
製作	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
原作	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
脚本	ジャン＝ピエール・メルヴィル	Jean-Pierre Melville
脚色	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
台詞	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
撮影	アンリ・ドカエ	Henri Decae
音楽	ポール・ボノー	
出演	ニコール・ステファアーヌ	Nicole Stéphane
	エドアール・デルミ	Edouard Dermit

ルネ・コジマ	
ジャック・ベルナール	Jacques Bernard
メルヴィン・マルタン	Melvyn Martin
マリア・シリアキウス	
モーリス・ルヴェル	Maurice Revel
ロジェ・ガイヤール	Roger Gaillard